

広瀬ディレクター「ドキュメンタリー番組の制作」を語る

北星学園大学・朝日新聞連携講座「メディアと社会」15年目へ

2022年7月8日（金）

北星学園大学経済学部での講座「メディアと社会」。この講座は同大学と朝日新聞北海道支社との連携講座として2007年から始まったものです。7月8日（土）、広瀬久美子ディレクター（報道部副部長）が「ドキュメンタリー番組どう作る？」と題して、2021年2月に放送したテレメンタリー「ポネオハウ-アイヌの私-」を題材に、取材のきっかけから放送に至るまでの経緯や、当初『イチオシ!』で放送した企画との比較など、VTR視聴を交えながら講義を行いました。出席した80人以上の学生からは「ドキュメンタリーで大切にしていることは？」などの質問があり、広瀬ディレクターは「取材相手に肉薄するには信頼関係を築くこと。相手を理解して、いかに好きになれるのかが大切。とにかく相手の話を聞く。想像力を働かせて質問をぶつける。思いもよらなかったことが聞けたとき。それは宝で、視聴者に伝えるべき価値のあること」と話していました。

